

平成31年度 交通まちづくり創生事業（事業計画）

1 趣旨

公共交通の活性化による市勢発展に寄与するため、国の「地方創生交付金」を活用し、東京大学、YKK及び交通事業者等との産学官協働による取組を引き続き実施する。

平成31年度（最終年度）は、過年度の調査・検討を踏まえ、公共交通網の具体的な見直しを検討する。

また、モビリティハブの充実により、市街地の回遊性を高め公共交通利用の動機付けを図るほか、官民共同運行のさらなる改善と実効性のある利用促進策を展開する。

2 総事業費 104,000 千円（4年間合計）

平成28年度	50,000 千円	（補助率 100% : 50,000 千円）
平成29年度	18,000 千円	（補助率 50% : 9,000 千円）
平成30年度	23,000 千円	（補助率 50% : 11,500 千円）
平成31年度	13,000 千円	（補助率 50% : 6,500 千円）

3 事業内容

- (1) 官民共同運行路線の最適化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【 2,000 千円】
 - ・南北循環線の成功路線化を目指し、最適なルート、ダイヤ設定、諸課題の解決に向け、運行方法の調査・検討を行う。

- (2) 次世代型交通システム実証実験の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【 3,000 千円】
 - ・「相乗り型タクシー」の実証実験の結果を踏まえ、運行システムの課題の抽出と一層の充実策、有効化に向けた条件等について整理、検討する

- (3) モビリティハブの整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【 6,000 千円】
 - ・路線バスと小さな公共交通（自転車）を組み合わせたハブ機能の創出により、移動の利便性と連続性を高め、公共交通の利用促進を図る。
 - モビリティハブの新規設置
 - 公共用自転車の増車

- (4) モビリティマネジメント・ブランディング・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【 2,000 千円】
 - ・各種広報媒体を活用し、幅広い年齢層を対象とした公共交通の利用促進を図る。
 - ニュースレターの発行、ホームページによる情報発信
 - 体験乗車会の実施